

KPブロック〈省力化練積み間知ブロック(1個/m²)〉



●特長

- 1.1個が1m²と大型なので、工期は大幅に短縮され、作業の省力化が出来ます。
- 2.基礎部をプレキャスト化する事により、施工労力を軽減しました。
- 3.裏壁があるため、裏型枠は必要ありません。
- 4.ブロック表面が擬石模様なので、自然との調和が図れます。
- 5.胴込コンクリートが一体化するため、強固な練り積み擁壁を形成できます。

平均強度
5.5

輝度の標準偏差
21



▲大分県竹田市

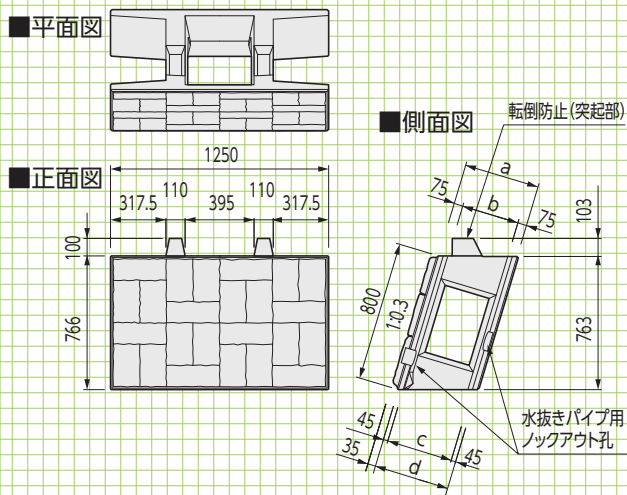
■使用条件(直高と法勾配との関係) (道路土工 擁壁工指針)

直 高(m)		~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0
法勾配	盛 土	1:0.4	1:0.5	—
	切 土	1:0.3	1:0.4	1:0.5
ブロック控長		45cm	50cm	55cm

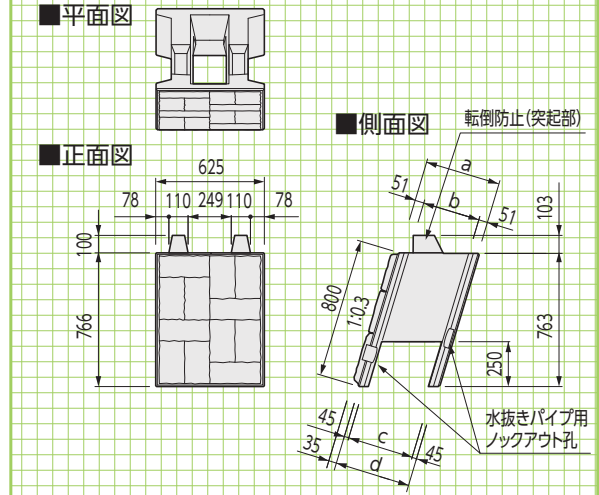
基本形状図 I型

形状・寸法
重量表

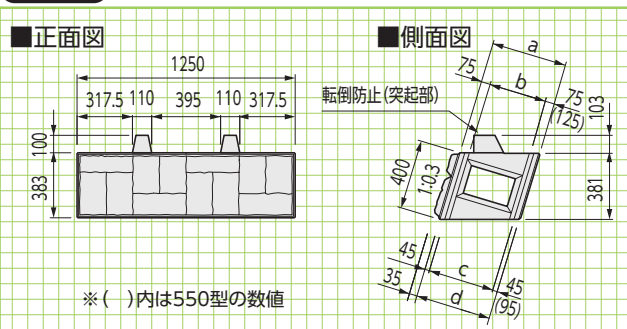
本体A



本体B

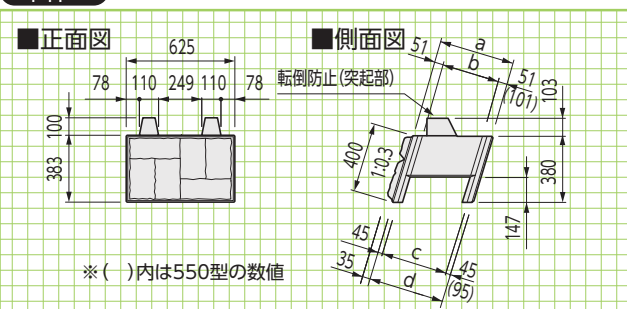


本体C



※()内は550型の数値

本体D



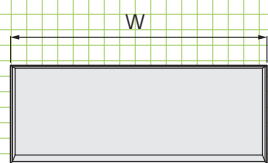
※()内は550型の数値

■寸法・重量表

呼 称		寸 法(mm)				胴込量	参考重量
呼び寸法	型	a	b	c	d	(m³)	(kg)
350	A型	350	200	260	350	0.178	404
	B型	350	248	260	350	0.072	251
	C型	350	200	260	350	0.089	202
	D型	350	248	260	350	0.036	125
450	A型	450	300	360	450	0.273	425
	B型	450	348	360	450	0.110	272
	C型	450	300	360	450	0.136	212
	D型	450	348	360	450	0.055	136
500	A型	500	350	410	500	0.320	433
	B型	500	398	410	500	0.131	280
	C型	500	350	410	500	0.160	216
	D型	500	398	410	500	0.066	140
550	A型	550	400	460	550	0.361	450
	B型	550	448	460	550	0.158	310
	C型	550	350	410	550	0.160	276
	D型	550	398	410	550	0.066	170

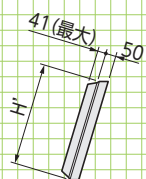
天端調整パネル

■正面図



※模様はKPブロック本体と同じ

■側面図



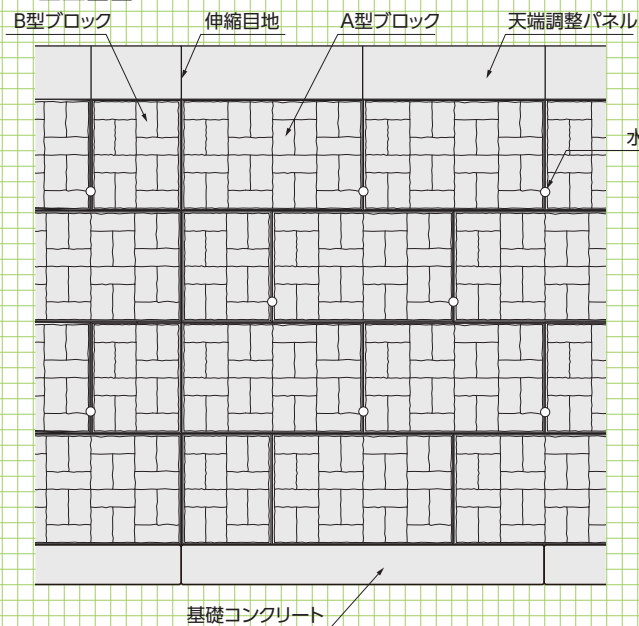
天端調整パネル 寸法・重量表

呼称 (H')	参考重量(kg)	
	W=1250	W=625
200	50	25
300	70	35
500	115	60

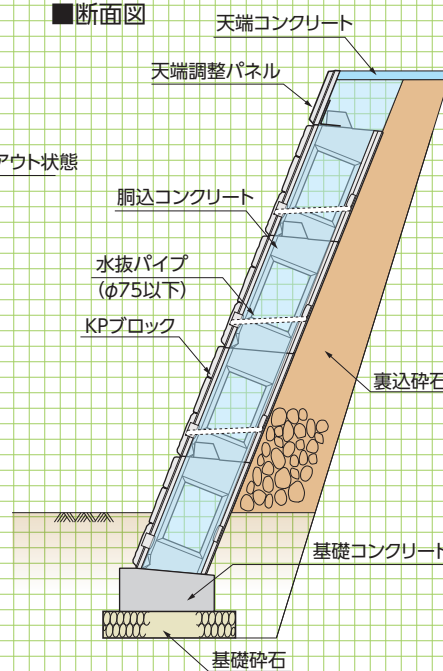
天端調整
パネル形状・寸法
重量表

標準施工図

■正面図



■断面図



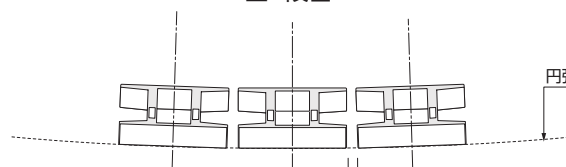
▼大分県日田市



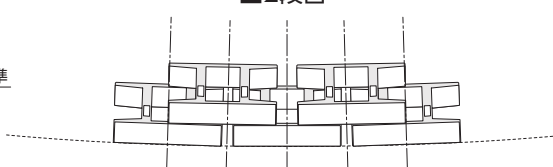
※呼び寸法350には支保工が必要です。



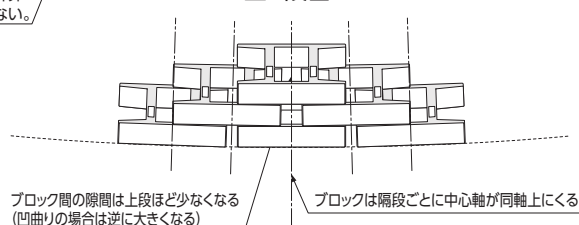
■1段目



■2段目



■3段目

最上段の隙間を0として基礎の隙間を計算
凹曲りの場合は考慮しなくてもかまわない。ブロック間の隙間は上段ほど少なくなる
(凹曲りの場合は逆に大きくなる)

ブロックは階段ごとに中心軸が同軸上にくる

カーブ施工

擁壁類

河川関連

道路関連

管渠類

側溝類

貯水槽関連

組合製品

景観関連

基礎類・その他

